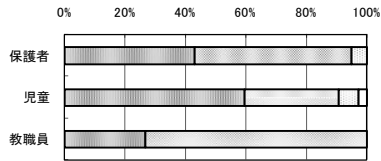


■ 4-そう思う □ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない □ 1-そう思わない

学校教育目標

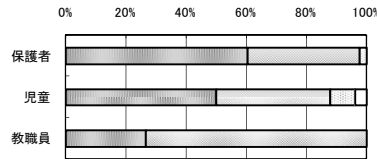
1 教育方針・目標の理解

学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者、地域にわかりやすく示していると思いますか。



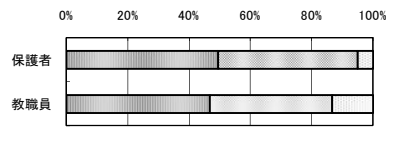
2 意欲的な学校生活

子どもは、楽しい学校生活が送れていると思いますか。



3 教師の連携協力

学校では、先生方が連携協力して教育活動に取り組んでいると思いますか。

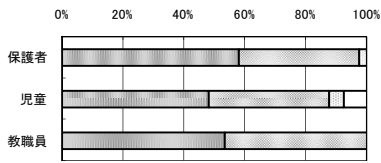


【学校から】学校教育目標そのものについてはPTA総会や学校だよりで学校の課題や目指していることについて知らせてきました。また、各学級では学級目標や小ステップ化して子どもたちにも分かりやすいように伝え取り組んでいるところです。各自が目標を持って取り組ませることで達成感や自信につながることを目指してきました。これにより子どもたちの意欲や職員の連携の高まりにつながってきていると考えています。

教科指導

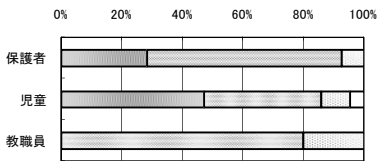
4 授業づくりの工夫

先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。



5 意欲的な学習態度

子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。

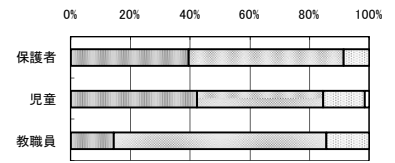


【学校から】子どもたちが見通しをもって取り組み、まとめては達成感を感じることができる授業となることを目指して、課題解決型の「みなみっ子の学び方」に沿った授業に取り組んでいます。ねらいをはっきりとたせること、学年にあった伝え合い考え合う場を設けるようにしています。次年度からの新学習指導要領の完全実施に向けて、各教科における言語活動の活性化も意識しています。

総合的な学習の時間

6 総合的な学習の時間の充実

子どもは、総合的な学習の時間に意欲的に取り組んでいると思いますか。

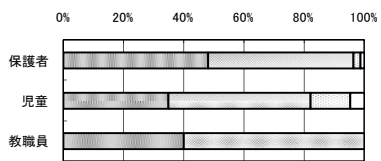


【学校から】地域にある素材の活用や地域の方々との交流を大切に取組を行っています。次年度に向け、新しい観点や計画などを検討しています。

道徳教育 心の教育

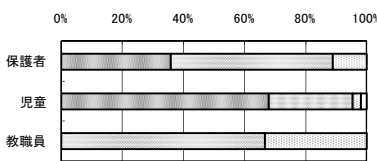
7 道徳、心の教育の充実

学校は、思いやりの心や感謝の心などを大切にしている心の教育の充実に取り組んでいると思いますか。



8 あいさつ、礼儀の励行

子どもは、あいさつがきちんとできていると思いますか。

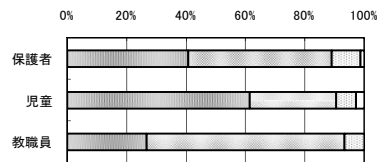


【学校から】本年度から、道徳の研究に取り組んでいます。資料を使ったり体験と関連づけた授業を通して、学んだことや感じたことが子どもたちの言動として現れることをねらい、全学級で研究授業を行い、外部講師による指導を受け授業改善に努めてきました。今後、特別活動とのつながりなども検討していきたいと考えています。

人権教育

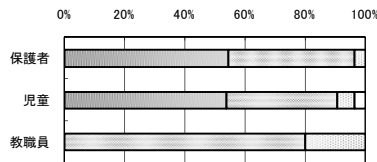
9 一人一人の生徒の尊重

学校は、一人一人の子どもを大切にしている指導や対応ができていると思いますか。



10 友だちへの思いやり

子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。

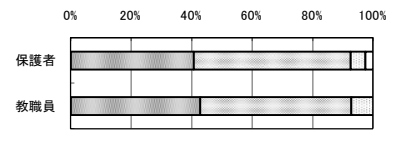


【学校から】本校では、人間尊重を基盤においてすべての教育活動で取り組むことを方針としています。人権への意識を高めるように、日常の指導に加え、各学期に人権週間を設けて児童の実態や価値ある経験に基づく授業を全学級で授業を行いました。今後とも、思いやりの心や規範意識を育てよう全校で推進していきます。

特別支援教育

11 学校の支援体制

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。

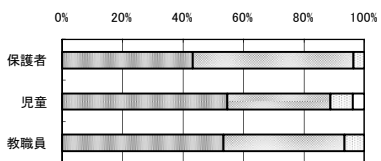


【学校から】本年度から特別支援学級が新設され、集会や特別支援教育たよりなど、子どもたちや保護者の皆さんの理解を深めつながら働きかけをしてきました。

生徒指導 教育相談

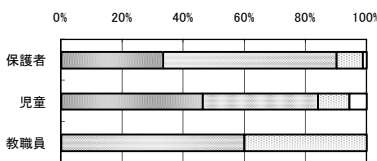
12 生徒理解

先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようとしていると思いますか。



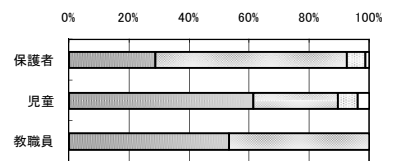
13 規範意識

子どもは、きまりやマナーを守っていると思いますか。



14 いじめや問題への対応

学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。

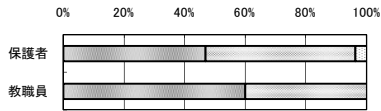


【学校から】対象の3項目については、90%以上が「あてはまる」と「だいたいあてはまる」の合計が90%程度で、昨年度から横ばいになっています。アンケート調査や学期ごとの個別面談を通して子どもたちが困っていることや悩んでいることを細かく把握し、早めの対応に心がけてきたところです。なお、決まりやルールを守ることについては、児童自身は84%が肯定的にとらえています。できていないとした児童についても児童自身が自らの言動を振り返る力がついてきているととらえることもできます。今後とも、子どもたちの思いをしっかりとらえながら、規範意識の育成とその実践力をつけるように取り組んでいきたいと考えています。

健康教育 安全

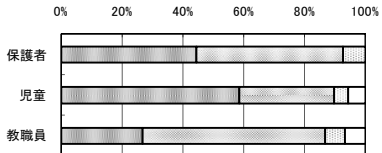
15 安全と事故防止

学校は、子どもの安全と事故防止に努めていると思いますか。



16 体力向上

子どもは、すすんで外遊びやスポーツをしていると思いますか。

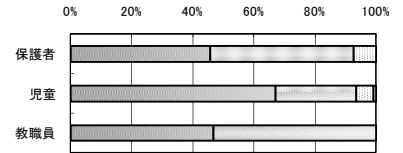


【学校から】安全と事故防止に向けて安全対策協議会をはじめ地域の方々や保護者の皆様の見守り活動や交通指導など積極的なご協力いただいています。健康教育に関わっては、生活リズムの形成の一環として「早寝・早起き・朝ごはん」活動への働きかけを行ってきました。体力については職員も児童も課題であることを理解して、向上に努力して大きく改善することができました。今後も、運動に親しませるよう工夫を取り組んでまいります。

学校行事

17 学校行事への参加と工夫

学校では、運動会や学習発表会などの学校行事が工夫されていると思いますか。

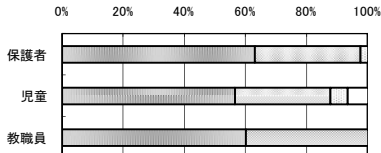


【学校から】各自の目標を持たせて当日まで努力し振り返るという過程を通して子どもたちが自分の努力や結果に充実感を感じることを大切にしました。さらに意欲が高まるよう見直しを図っています。

学校環境

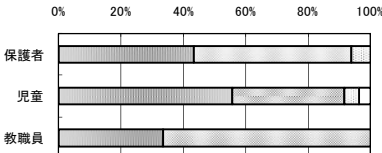
18 環境の整理・美化

学校では、校舎内外（花壇や掲示物など）がきちんと整理されていると思いますか。



19 施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

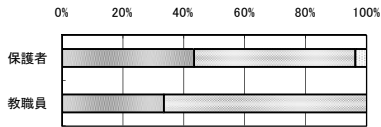


【学校から】3年間継続して熊本市学校緑化コンクールに取り組み、安全で一年中花がある環境づくりに努めてきました。児童の委員会も樹木札作りなどに加え、朝のボランティア活動の中心となって環境づくりを進めました。本年度の施設整備については、雨漏りの補修や照明の改善、不要な遊具の撤去、プールサイドシートの購入、さび止めペンキ塗装、ガス管新設、管理棟空調取替、地デジ化工事、全学級の扇風機設置などを行いました。また、毎月安全点検を行って、傷んだ箇所については速やかに補修を行い安全管理に努めています。

情報の公開・発信

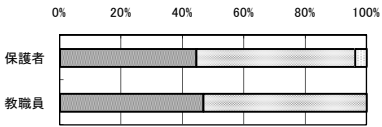
20 学校の予定等がわかる情報発信

学校からの文書等で、学校の情報が十分発信されていると思いますか。



21 教育活動への参加

学校が公開している教育活動（行事・授業等）は、保護者や地域の方が参加しやすいと思いますか。

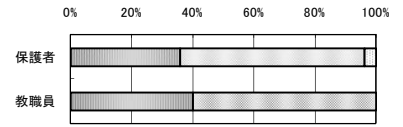


【学校から】HPの逐次更新や各種たよりにより、学校の取組や児童の様子、予定等を発信してきました。HPもよく見ていただき、感想などを伝えていただいたり、お知らせした学校や学級の行事にもご協力をいただいたりしています。保護者のボランティア活動で環境整備も進み有り難く思っています。今後とも、できるだけ学校の様子をオープンにし、参加しやすい、参加したい教育活動になるように努力していきます。

家庭・地域との連携

22 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

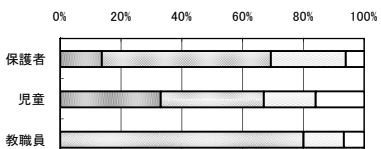


【学校から】地域施設での交流活動への参加や授業、また職員の研修に地域のご協力をいただいています。家庭とも連携し、生活リズムづくりや家族のふれ合い活動に取り組みました。

(学校独自)

23 学習習慣の形成

子どもは、家庭での学習習慣（決めた時刻に始め、決めた時間学習する）がついていると思いますか。

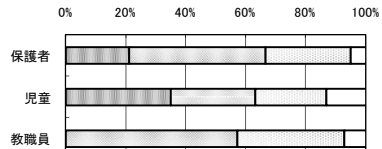


【学校から】家庭学習や学用品などの学習準備をし、すっきりとした気分で登校することで学習意欲も高まり、落ち着いた学校生活を送ることにつながります。もう少し伸ばしたい項目です。

(学校独自)

24 生活リズム

子どもは、テレビやゲームの時間の管理をしながら、規則正しい生活ができていると思いますか。

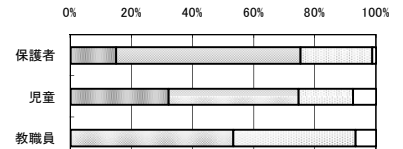


【学校から】本校の課題である体力や学力についても、生活リズム形成やそれぞれの習慣形成が根底となるものであり、ご家庭と連携して大切に育てていきたいと考えています。

(学校独自)

25 豊かな心の育成

子どもは、相手のことを考えた言葉づかいや行動をしていると思いますか。



【学校から】学校は家庭から外に出て集団で過ごす場であり、人と人のつながり方を学ぶ機会になります。時・場・状況を考えて、その時々に応じた適切な言葉遣いについての意識をもっと高めていかなければと考えます。

来年度の具体的な取り組みについて

22年度には全職員で体力向上に取り組み、子どもたちも意識して体力づくりに努力してきたと感じています。確かな伸びもあり、次年度も改善すべき課題について、職員も子どもたちもそれぞれに改善意欲を持って取り組んでいきたいと思っています。

- 次のような取組を考えています。
- ア 豊かな心の育成～実践的態度につながる授業や活動・相談体制の充実と適切な対応～
- イ 学力の向上～授業改善・学習習慣・学習支援体制を中心に～
- ウ 体力・運動能力の向上～楽しさの中に鍛える体育授業・業間体育・運動習慣を中心に～

学校関係者評価

- 地域での挨拶の声が小さい。引き続き地域でも声かけをやっていくが、学校でも言葉遣い等も含め指導を続けてほしい。
- 学習については、低学年から「くどらしく」丁寧に根気強く指導してほしい。
- 漢字にはね、はらい、止め等丁寧に指導してほしい。
- 子どもたちの姿勢が気になる。
- 交通事故が心配である。地域でも見守りを続けていきたい。
- パワーアップタイムの取組がよい。体力向上につながると思う。
- 落ちつかない子どもがいる学級では、保護者が学校と一緒に取り組んでいくことが大切である。
- 少人数の学校なので、児童一人一人の成長を見守ることができる。